

The Japanese Journal of Diabetic Caring

糖尿病ケア

患者とパートナーシップをむすぶ糖尿病療養援助

糖尿病ケア 第8巻5号 (通巻93号)

2011年5月1日発行

MC メディカ出版

マイクリニック 自慢

ワン 1 ツー 2 スリー 3

「専門医であるとともにかかりつけ医」「情報開示」「情報発信」の3つの理念を掲げ、茨城県つくば市にて糖尿病診療に取り組み16年目を迎えました。地域の基幹病院はもちろん、MRIなどの検査依頼や眼科・消化器内科などの診療所とも積極的な連携が行われています。

1996年の開院以降、当院を受診したすべての糖尿病患者情報が蓄積されている CoDiC-MS（患者情報データベース）や Dia-Mate（糖尿病患者教育ツール）の開発など、IT 利用も積極的に行っています。2006年には10年間利用していた紙カルテから電子カルテへ移行し、院内には38台のPCが設置され、日々のチーム医療を補助しています。これらの情報を利用した学会発表や院外活動も多く、2011年5月に札幌で開催される第59回日本糖尿病学会年次学術集会では、院長と3名のスタッフが発表を行うことが決まりました。

当院は日本糖尿病協会や糖尿病療養指導士会などの企画・運営や、糖尿病データマネジメント研究会（JDDM）の事務局を担当していることから、県内の医療機関はもちろん、県外の糖尿病専門施設などと意見交換できる場が多く、そのネットワークはさまざまなシーンで役立っています。また、医師同士、コメディカルスタッフ同士の交流に留まらず、他職種との交流を通じた活動はチーム医療の基盤となっています。

知識技術習得の道

昼休みを利用し、全スタッフ参加で週2回、1時間の勉強会を開催しています。講師はスタッフの持ち回り制で、学会誌の読み合わせや症例検討を中心に、保険制度やPC操作技術など、日々の診療にかかわるすべての情報について伝達を行っています。院外で開催される講演会・研究会情報は常に全スタッフに公開され、興味のある会は積極的に参加できる環境を整えています。

こんな会を開いています！

患者会「桐の木」会の活動が15年目を迎えました。調理実習、運動の会、日帰り旅行など、年6回の活動を継続しています。たくさんある食材のなかから種類や量を考えるサラダバー体験やそば打ち体験、患者さんのリクエストによる太極拳やグラントゴルフなど、総会で意見を出し合って活動内容を決定しています。日帰り旅行は平日実施ながらも毎年参加者は20名を超え、「桐の木」会の名物企画となっています。

糖尿病療養援助を!

患者さんの応援を!

DMがんばるクリニック

川井クリニック



院長 川井 紘一 (専門: 糖尿病)

開設年月日 1995年12月23日

診療科 内科

住所 〒305-0812 茨城県つくば市東平塚 715-1

ホームページ

<http://www.kawai-clinic.com/>

スタッフ

医師 / 2名 (糖尿病専門医)

看護師 / 6名 (うち4名CDEJ)

管理栄養士 / 3名 (うち1名CDEJ)

臨床検査技師 / 6名 (うち1名CDEJ)

健康運動指導士 / 1名

事務 / 6名

■提携病院 筑波大学附属病院、筑波メディカルセンター、筑波記念病院、筑波学園病院、東京医科大学茨城医療センター、総合病院土浦協同病院、総合守谷第一病院 など

基本データ

通常外来	禁煙、肥満、ED、インスリン自己注射導入、1型糖尿病、フットケア、特定健診
指導・活動内容	栄養士による食事指導、糖尿病教室、フットケア、糖尿病患者会「桐の木会」
設備・スペース	電子カルテ、栄養指導室、運動指導室・フィットネス、フットケア処置スペース、多目的ホール
検査設備	院内迅速計算機器 / CRP、乳酸
	眼科検査設備 / 眼底カメラ
	そのほか / HbA1c 機器 (HPLC)、心電計、ホルター心電計、PWV・ABI 測定機器、頸動脈超音波検査器、腹部超音波検査器、尿分析機、単純X線装置、超音波骨密度測定装置